

初めに、神は天地を**創造された**（創世記 1 : 1）。

元始（はじめ）に神天地を**創造（つくり）たまへり**（文語訳[明治訳]舊約聖書 1953 年版）

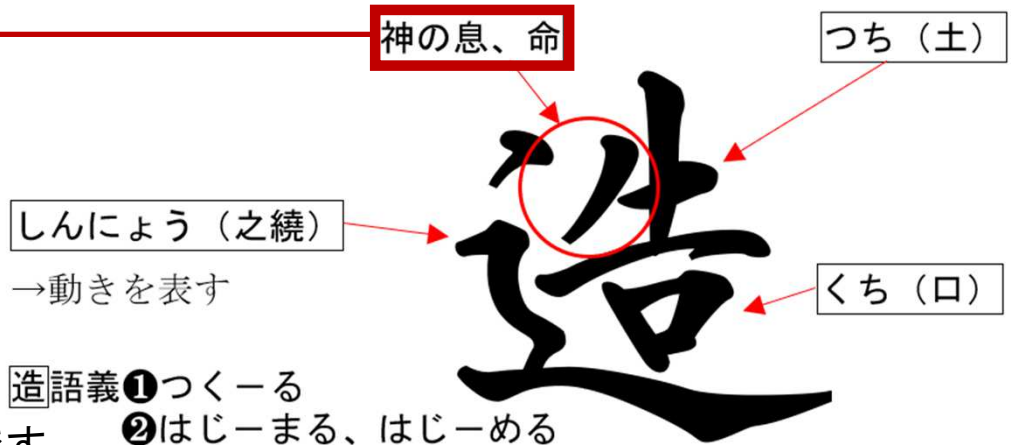
← 読み方(右から左へ)

ハアレツ ヴェエツト ハーシャマイム エト エロヒーム(神) **バーラー** ベレシート(初めに)

בְּרֵאשִׁית בְּרָא בָּרָא אֱלֹהִים אֶת הַשָּׁמַיִם וְאֶת הָאָרֶץ

**Θεόπνευστος** (ギリシア語)

= theópneustos, theh-op'-nyoo-stos  
 = given by inspiration of God  
 = 神の靈感を受けて → 神が息を吹き込まれる



テモテへの手紙二 3 : 16

聖書はすべて**神の霊の導きの下**に書かれ、人を教え、**戒め、誤りを正し、義に導く訓練**をするうえに有益です。

造語義 ① つくーる ② はじーまる、はじーめる

人間=肉体と精神(霊)と魂(心)の分割不可能な統一体

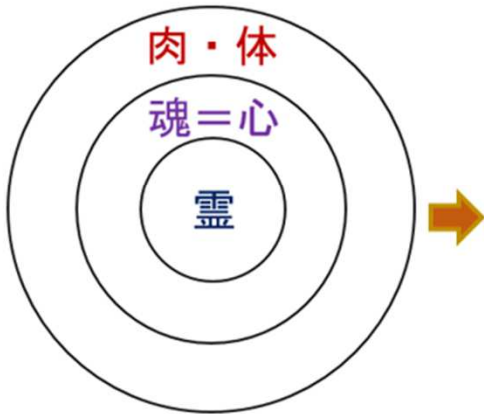
目に見える ← → 見えない

★息(呼吸)psyche プシュケー(ギリシア語):いのち、生命、心、魂

死=息絶える ← **命** → [い]き[の]み[ち] → 息の道

→ [い](息)の[ち](霊) = 息の内(いのち)、生内(いきのうち)、息力(いのち)

神 GOD



肉

(ヨハネ 6:63)

霊

spirit

魂

soul

思

心

heart=mind,will,emotion  
personality,etc

体

body

- ▶ 神の霊がわたしを造り／全能者の息吹がわたしに命を与えたのだ。  
(ヨブ記 33:4)
- ▶ 息吹を取り上げられれば彼らは息絶え／元の塵に返る(→帰る)。  
(詩編 104:29b)
- ▶ 死後の状態について、人間は魂と肉体を分けることのできない存在であり、  
肉体の活動が停止すると同時にすべての精神活動も停止し、  
復活の時まで無意識の眠りの状態にある。⇒ 霊魂消滅説  
⇒ ヨブ 34:14、15 ヨハネによる福音書 5:28~29、ヤコブの手紙 2:26
- ▶ 霊が人間を去れば／人間は自分の属する土に帰り／その日、彼の思いも滅びる(詩編 146:4)。
- ▶ 塵は元の大地に帰り、霊は与え主である神に帰る(コヘレトの言葉 12:7)。  
↓ ★人間に与えられた神の命の息(霊)は、神に帰る。  
ルアハ(ヘブライ語):息、風、霊 → (新約)霊:プニューマ(ギリシア語)



## 神の息(息吹)、霊 他

ヨブ記	4:09 彼らは <b>神の息 the blast of God</b> によって滅び/ <b>怒りの息吹</b> によって消えうせる。
	27:03 <b>神の息吹 the spirit of God</b> がまだわたしの鼻にあり/わたしの息がまだ残っているかぎり (→聖書協会共同訳：私の息が私の内にあり/ <b>神の息吹</b> が私の鼻にあるかぎり) 04 この唇は決して不正を語らず/この舌は決して欺きを言わない、と。
	32:08 しかし、人の中には(知恵の) <b>霊 a spirit</b> があり/悟りを与えるのは <b>全能者の息吹 the inspiration of the Almighty</b> ※ <sub>1</sub> なのだ。
	37:10 <b>神が息を吹きかければ氷ができ/水の広がり</b> は凍って固まる (→聖書協会共同訳： <b>神の息 the breath of God</b> によって氷が生じ/水の広がり <b>は凍る</b> )。
	33:04 <b>神の霊 The Spirit of God</b> がわたしを造り/ <b>全能者の息吹 the breath of the Almighty</b> ※ <sub>1</sub> がわたしに命を与えたのだ。
	34:14 もし神が御自分にのみ、御心を留め/ <b>その霊と息吹 his spirit and his breath</b> ※ <sub>1</sub> を御自分に集められるなら 15 生きとし生けるものは直ちに息絶え/人間も塵に返るだろう。
詩 編	33:06 御言葉によって天は造られ/ <b>主の口の息吹 the breath of his mouth</b> ※ <sub>1</sub> によって天の万象は造られた。
	104:29 御顔を隠されれば彼らは恐れ/ <b>息吹 breath</b> ※ <sub>1</sub> を取り上げられれば彼らは息絶え/元の塵に返る。
哀 歌	4:20 主の油注がれた者、わたしたちの <b>命の息吹 The breath of our nostrils</b> ※ <sub>1</sub> /その人が彼らの罾に捕えられた (→聖書協会共同訳：私たちの <b>命の息</b> 、主に油を注がれた者も/彼らの罾に捕えられた)。異国民の中にあるときも、その人の陰で/生き抜こうと頼みにした、その人が。

※1:「息吹」から「息」に改訂(聖書協会共同訳、「全能者の息吹」は登場しない)